



工業・福祉・デザイン連携プロジェクト「こうふくで山形」

こうふくで

ミーティング vol.3

リアル開催!

「こうふくで山形」は、工業 × 福祉 × デザインが連携して、“はたらく”と“いきる”をそれぞれの視点で共有することにより、ここ山形で、みんなが幸せでいられることをデザインし、ものづくりを通してそれを実現することに取り組むプロジェクトです。

第3回目のミーティングは初の対面開催!

工業 × 福祉 × デザインの異分野がひとつのテーブルを囲み、仮想の“ユーモラ・マルシェ”を題材としたグループワークを通じて、お客様や自分たち、このマルシェに関わるすべての人が楽しめる企画を想像します。ぜひお気軽にご参加ください。

令和4年7月19日(火)

○時間：13:30 ~ 16:30

○会場：山形県工業技術センター
(山形市松栄2-2-1)

○参加費：無料

○定員：20名程度

○対象：

- ・県内ものづくり企業(経営者、開発担当者等)
- ・県内障がい者福祉事業所(代表者、担当者等)
- ・県内デザイナー

申込締切

令和4年7月12日(火)

※新型コロナウイルスの感染状況により、予定を変更する可能性がございますので予めご了承ください。

{ ファシリテーター }



HUMORABO(ユーモラボ)

前川雄一、亜希子によるデザインユニット。「福祉とあそぶ」をテーマに、デザイナー夫婦ならではの二つの視点で、社会と福祉の楽しく新しい関係を探っている。

{ コーディネーター }



武田和恵(やまがたアートサポートセンターら・ら・ら)

山形県山形市生まれ。2012年から、一般財団法人たんぼぼの家、NPO法人エイブル・アート・ジャパンの東日本復興支援プロジェクト東北事務局。2018年から、やまがたアートサポートセンターら・ら・らコーディネーターとして従事。

ここでは、誰しものが幸せに楽しく生きるためのヒントを「ユーモラ」と呼びます。

ユーモラは、HUMOR(ユーモア/おかしさ)とHUMAN(ヒューマン/人間)を組み合わせた造語。ユーモラな視点を持てば、もっと楽しい山形が見えてくる!?

まるで文化祭の準備をするように、3者それぞれの“できること”を組み合わせ、そこに来るお客様はもちろん、出店する自分たちも楽しめることを考えてみよう。

でもまあ出店しなくてもいいか。こんなマルシェがあったらみんな幸せ!を想像しよう。

プログラム

1. HUMORABO 自己紹介(ユーモラとは?)

HUMORABOの活動・事例紹介を通して、ユーモラ視点をインストールする。

2. グループワーク「ユーモラ・マルシェの出店企画」

自己紹介からお互いのユーモラを発見し、そのユーモラを組み合わせ・掛け合わせてみる。それぞれの「幸福」を共有し、「幸福から生まれるマルシェ」を想像する。

3. 出店企画・発表

グループワークの成果共有。それぞれのグループで生まれたユーモラを並べてみる。



お申込み

やまがたe申請システムより参加登録をお願いします。

https://s-kantan.jp/pref-yamagata-u/offer/offerList_detail.action?tempString=koufukude3



やまがたe申請システム

「こうふくで山形」プロジェクトでは、連携先のご紹介やものづくりに関する相談なども承っています。工業・福祉・デザインの連携に興味のある方は、どうぞお気軽に事務局までご相談ください!

こうふくで

YAMAGATA